



平成28年度「ふくしまで一緒にやろう！」プロジェクト!!

福島県高体連自転車競技専門部

平成28年11月12日(土)、「はくしんイベントホール(しんきんギャラリー館)」にて、窪木一茂氏(NIPPO・ヴィーニファンティーニ 自転車競技選手)とマルコ・ファヴァロ氏(サイクリスト・サイクルブランドのモデル・通訳)を講師に招いて、講演会を実施しました。

『2020年 果てしなき挑戦』という演題で2時間の貴重なお話を聞くことができました。自転車レースの歴史や戦後の復興としての自転車競技など、普段は聞くことのない貴重な内容でした。また、選手としての心構えや何気ない日常が大切であると改めて感じました。生徒たちからは、「何気なく乗っている自転車の歴史に触れることができ楽しかった。」「私生活でのちょっとした自己管理の仕方での大きな差になることを改めて感じた。」「何事も努力が大切。練習をしたくない日も自分なりに工夫をして強くなりたい。大きな舞台に立つためには、強い気持ちとポジティブな考え方が大切であるということが分かった。」などモチベーションの向上に繋がることができました。



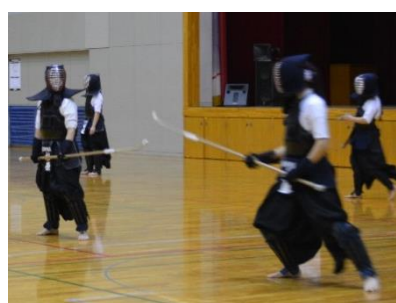
福島県高体連なぎなた専門部

平成28年12月23~24日の2日間、会津若松市河東総合体育館にて「ふくしまで一緒にやろう！」プロジェクトを実施しました。日本女子体育大学を招待して、県内の高校生44名、中学生63名、指導者16名が参加しました。

1日目の午前中は、健康運動指導士の目黒史江先生を講師に迎え「なぎなたの特性に応じた体幹を鍛える」を目的にトレーニングやエアロビクスを行い、この時期(冬期)の体作りにはとても効果的でした。

大学生との稽古では、正しいなぎなたの操作など基本を丁寧に確認しながら行いました。また、実践を交える事により、スピードや駆け引きなど、技術の向上と適応力が養われたと感じます。

生徒たちは技術だけでなく、高校卒業後も「なぎなた」を続けている大学生の姿に触発されたようであり、今後のなぎなた競技の活性化にも繋がる有意義なプロジェクトとなりました。



福島県高体連柔道専門部



平成29年1月4～6日の3日間、郡山西部第二体育館において、県内外の高校生約200名の選手が参加し強化合宿が行われました。全国柔道選手権で優勝経験のある東京都の私立修徳高校を招待し、よりレベルの高い充実した合宿となりました。

修徳高校の大森監督から「今年は南東北インターハイの年。今まで以上に地元の選手の活躍をみんなが待ち望んでいるはず。お互いに頑張ってください。」とエールを頂きました。

宿舎では、福島県産のお米が提供され、選手たちは美味しそうに頬張っていました。

県外から参加した選手は「予想以上に復興が速くて驚きました。僕たちが福島に来て、一緒に柔道をする事で支援ができればいいなと思っています。」と話しました。また、県内の選手は「県外の選手と練習をすると、技のパリエーションも増え、新たな課題も見つかりました。南東北インターハイでは活躍できるよう頑張っていきたいと思います。」と力強く答えていました。



*この強化合宿は、県政広報番組に取り上げられ、1月26日（木）テレビユー福島「Nスタ ふくしま」の中で放送されました。

福島ファイヤーボンスのホームゲームにて福島県高校生活動県推進委員会がPR活動を実施!

1月22日（日）、郡山総合体育館で開催された福島ファイヤーボンスBリーグのホームゲームで県高校生活動推進委員会がPR活動を行いました。県推進委員会生徒三役と県南地区推進委員会事務局校の郡山女子大学附属高等学校推進委員会の7名で参加してきました。ゲームの盛り上がりにより少し圧倒されながらも、ハーフタイムに横断幕とのぼり旗を掲げながらコート中央まで入場し、応援に訪れているブースターの皆さんに福島県開催10競技や見所を説明しました。バスケットボール競技が福島県開催競技ということもあり、温かい拍手と声援を頂きました。



大会まで、あと6ヶ月となりました。選手の応援はもちろん、来県される方々をお迎えする準備や競技会場での補助活動など、県内の高校生が一丸となって南東北インターハイを成功させましょう。



29南東北カウントダウンレー in 福島

今回のカウントダウン「絆リレー」は

12/30 田村高校 1/3 船引高校 1/8 小野高校 1/11 安積高校御館校 1/14 修明高校鮎川校
1/17 小野高校平田校 1/20 郡山女子大附属高校 1/24 帝京安積高校 の8校です。

*福島県 Twitter と公式ホームページにも掲載されていますので、ご覧ください。

田村高校推進委員会の皆さん(12/30)



田村高校には、県内唯一の体育科があり、毎年多くの運動部がインターハイに出場します。私たち推進委員会は、生徒会総会をはじめとする学校行事や合唱部・吹奏楽部の定期演奏会、地域の各種イベントでPR活動を展開しています。また、学校の最寄り駅前でもPRを行いました。

南東北インターハイに出場する選手の皆さん、後悔することのないように夢に向かって頑張ってください！皆さんの頑張りが、東北の復興への歩みを後押しする原動力となるはずです。「夢への挑戦！想いを胸に！」

船引高校推進委員会の皆さん(1/3)



私たち船引高校では、昨年11月に開催された公開文化祭「鵬翼祭」において、南東北インターハイのPR活動を実施しました。校内にポスターを掲示しブースを設けティッシュの配布をしました。また、JR船引駅でのPR活動の実施も計画中です。インターハイを目指して部活動に励んでいるみなさん、206日後、お待ちしております！！

小野高校推進委員会の皆さん(1/8)



私たち福島県立小野高等学校では、H29インターハイに向けて校内活動（球技大会や文化祭）を通じてPR活動を実施してきました。県南地区では卓球・柔道・自転車競技が開催されます。少しでも多くの方に会場に足を運んでもらえるよう、これからも全力でPR活動をしていきたいと思ひます。

安積高校御館校推進委員会の皆さん(1/11)



御館校ではPR活動の先駆けとして、生徒会総会で全校生徒に紹介しました。11月には学校がある中田地区の文化祭で、地域の方々にもPRしました。平成29年度南東北インターハイ本番に向けて、精一杯頑張っていきたいと思っています！

修明高校鮫川校推進委員会の皆さん(1/14)



昨年5月には村内の商業施設、学校、図書館、役場などでポスター掲示の依頼や回覧板を使って地域への南東北総体のPR活動をしました。球技大会や文化祭の際には、ブースを設けて来校された方々へティッシュを配布しながらPR活動をしました。あと195日、推進委員会も頑張っていますので、選手のみなさんも頑張ってください。

小野高校平田校推進委員会の皆さん(1/17)



小野高校平田校では、各行事の時にティッシュを配ったり、校舎の中にポスターを貼るなどのPR活動をして、南東北インターハイについて詳しく知ってもらう取り組みをしてきました。

郡山女子大附属高校推進委員会の皆さん(1/20)



私たち郡山女子大附属高校では、生徒会総会でスライドを使って全校生徒に説明をしてポケットティッシュを配布しました。また、夏の「うねめ祭り」の踊り流しで、のぼり旗や横断幕を持って参加しました。郡山市内のメイン通りを踊る祭りなので、県内外の観客に南東北インターハイをアピールすることが出来ました。また、学校行事の学校見学会や文化祭などでも自分たちで作成した独自の説明チラシを配布しました。

たくさんの方々にはらして頂けるよう、盛り上げていきたいと思ひます。

帝京安積高校推進委員会の皆さん(1/24)



帝京安積高校では、郡山市で開催される卓球競技、柔道競技の広報活動を中心にしています。特に、本校の卓球部は県の強化指定を受けていることから、応援にも熱が入っています。校内ではポスター掲示、生徒総会やお昼の放送などでPR活動を行っています。



次回のカウントダウン「絆リレー」の出演は

1/27 尚志高校 1/31 日大東北高校 2/3 学法石川高校 2/7 会津高校 2/10 葵高校
2/14 会津学鳳高校 2/17 若松商業高校 2/21 会津工業高校 の8校です。

どんな活動をしているか、これからどんな活動予定があるか楽しみにしてください。



問い合わせ先 福島県教育庁健康教育課全国高校総体推進室
〒960-8043 福島市中町8番2号 県自治会館3階 TEL: 024 (521) 8672